

電気通信大学 平成17年度シラバス

| | | | |
|---------|--|----------|--------|
| 授業科目名 | 国際文化演習 | | |
| 英文授業科目名 | Seminar in Intercultural Studies | | |
| 開講年度 | 2005年度 | 開講年次 | 2年次 |
| 開講学期 | 3(4)学期 | 開講コース・課程 | 夜間主コース |
| 授業の方法 | | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目 | | |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科 | | |
| 担当教官名 | 中島 義道 | | |
| 居室 | 東1-605 | | |

| | |
|-----------------------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| nakajima@hc.uec.ac.jp | なし。 |

| |
|--|
| 【主題および達成目標】 |
| (a)主題：異文化コミュニケーションの一環として、さまざまな(広い意味における)文化における考え方、感じ方の違いを学ぶ。 (b)達成目標：異文化に対する態度を単に頭で理解するのではなく、具体的に各自の生活の中に生かすこと。 |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| なし。 |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| コミュニケーション論(できれば)。 |

| |
|--------------------------------|
| 【教科書等】 |
| 教科書：とくに指定しない。 参考書：そのつど指示する。 |

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

第1回～3回：異文化コミュニケーションの基本的問題点を探る。

第4～14回：毎回、異なった文献を読み、討議する。

第15回： 期末試験

(b) 授業の進め方：

(電通大生があまり読んでいないと思われる)文化論に関する明治以降の代表文献をかなり読む。そして、それについて討議する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

毎回、出席を探る。適宜レポートを提出してもらう。この両者でおよそ40%。期末試験でおよそ60%。

(b) 評価基準：

欠席が3日を超えないこと。レポートの不提出が1回を超えないこと。その条件を充たす限りで期末試験の成績を加味して、評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話などで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

上にも書いたが、とにかく出席すること、そして、積極的に授業に参加すること。ただ黙って座っているだけの学生は、途中で聴講を断ることがある。

【その他】

とくになし。